

2. 地域の特性や農林水産物等の地域資源を活用する取組に関する施策(新事業の立ち上げ・新商品開発・新たな市場の開拓・需要の創出)

26	ローカル10,000プロジェクト (地域経済循環創造事業交付金)	URL	https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/local10000_project.html 			
事業実施主体(対象者)	支援対象・内容	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	R7年度当初予算	問合せ先
都道府県・市区町村	ハード	原則1/2 (上限2500万円)	毎月〆切	毎月	615 (百万円)	総務省地域力創造グループ 地域政策課 03-5253-5523

産官学金労言の連携により、地域の資源と資金を活用した地域密着型事業の創業・第二創業・新規事業立ち上げを支援

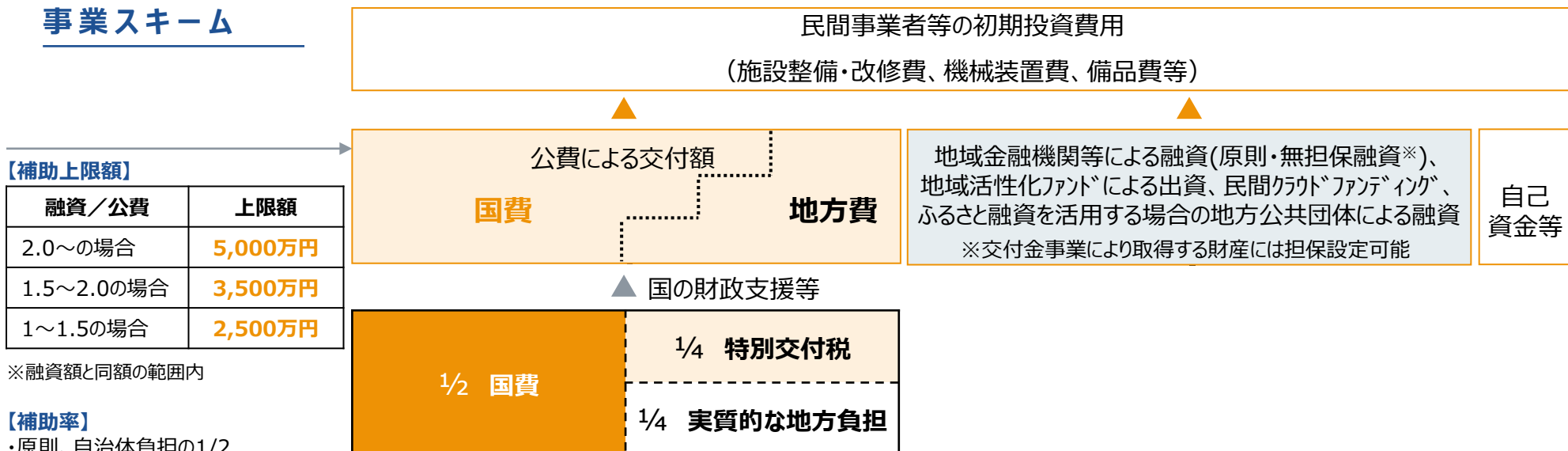
①地域密着型(地域資源の活用) ②地域課題への対応(公共的な課題の解決)

③地域金融機関等による融資、地域活性化ファンドによる出資、民間クラウドファンディング ④新規性(新規事業) ⑤モデル性

の要件について、有識者(総務省)の審査を経て該当すると認められた事業が対象

※事業は年度内完了が原則

事業スキーム



2. 地域の特性や農林水産物等の地域資源を活用する取組に関する施策(新事業の立ち上げ・新商品開発・新たな市場の開拓・需要の創出)

27	ローカル10,000プロジェクト (地方単独事業に対する特別交付税措置)	URL	https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/localstartup.html 			
事業実施主体(対象者)	支援対象・内容	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	R7年度当初予算	問合せ先
市区町村	ハード・ソフト	措置率0.5		8月～9月頃		総務省地域力創造グループ 地域政策課 03-5253-5523

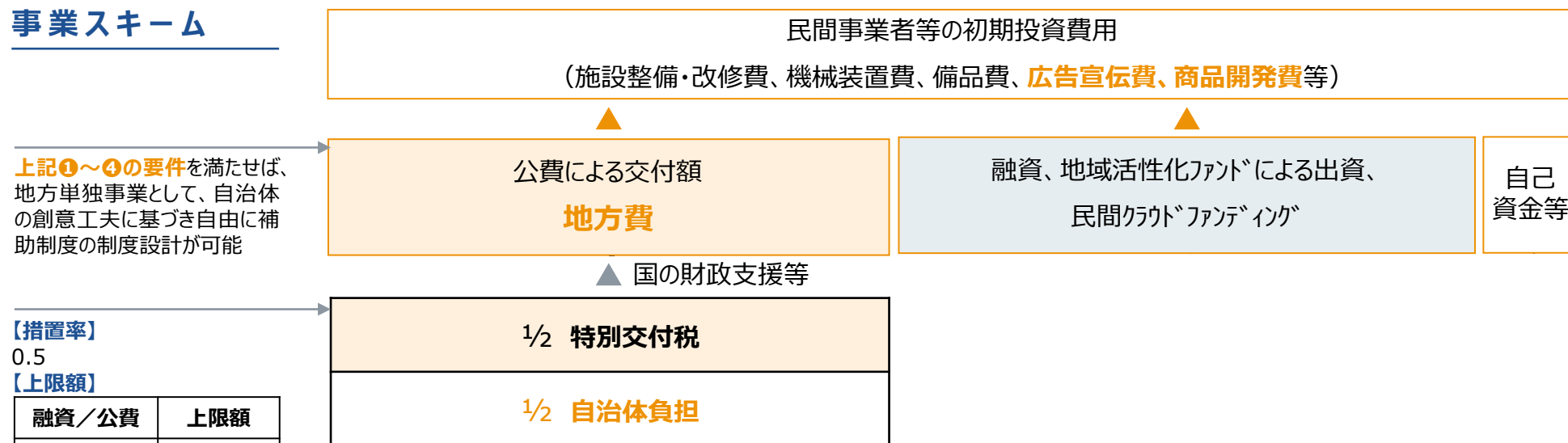
ローカル10,000プロジェクト(国庫補助事業)に準ずる市町村の地方単独事業に対する特別交付税措置

①地域密着型(地域資源の活用) ②地域課題への対応(公共的な課題の解決)

③融資、地域活性化ファンドによる出資、民間クラウドファンディング ④新規性(新規事業)

の要件について、市町村において有識者の審査又は商工会議所等の確認を経て該当すると認められた事業が対象

事業スキーム



【措置率】

0.5

【上限額】

融資／公費	上限額
1～ の場合	1,500万円
0.5～1.0 の場合	800万円
～0.5 の場合	200万円

POINT

- 市町村の地方単独事業を支援
- 国庫補助事業と異なり、先行事例の横展開等を推進するため、モデル性は問わない。
- 国庫補助事業と異なり、融資額が小さい場合、交付額が小さい場合、担保付融資の場合、**ソフト経費(広告宣伝費、商品開発費)**が中心となる場合も柔軟に活用可能。
- 国の有識者の審査不要。市町村の有識者の審査又は商工会議所の確認を経ることで柔軟に活用可能。

※融資額と同額未満の場合 についても対象

2. 地域の特性や農林水産物等の地域資源を活用する取組に関する施策(スマート農林水産業)

28	林業デジタル・イノベーション総合対策のうちデジタル林業戦略拠点構築推進事業	URL	https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/digital/digital.html 			
事業実施主体（対象者）	支援対象・内容	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	R7年度当初予算	問合せ先
地域コンソーシアム	ソフト	定額、1/2	2月上旬～3月上旬		78 (百万円)	農林水産省 林野庁 研究指導課 03-3501-5025
趣旨・目的	これまで一部の者や分断的な利用に留まっているデジタル技術を、地域全体で森林資源調査、原木の生産・流通、再造林など林業活動にフル活用する「デジタル林業」の実践・定着を進めることが重要。 そのため、異分野を含む多数のプレーヤーが地域コンソーシアムを形成し、地域一体となりデジタル林業を実践する「デジタル林業戦略拠点」の構築を支援する。					
事業内容	地域コンソーシアムによる林業のデジタル化の実証活動（以下①～③の取組）を支援する。 ①検討会開催 ②森ハブから派遣されるコーディネータの活用 ③実証活動（資源管理、生産管理、造林、通信、森林サービス）					

基幹事業

（実証活動、資機材購入費等を支援）

森林調査・施業の集約化

- ・地上レーザやドローンの活用による高精度な森林資源情報の取得
- ・生産量・伐採収益の推定ソフトや、路網設計支援ソフトの活用 など

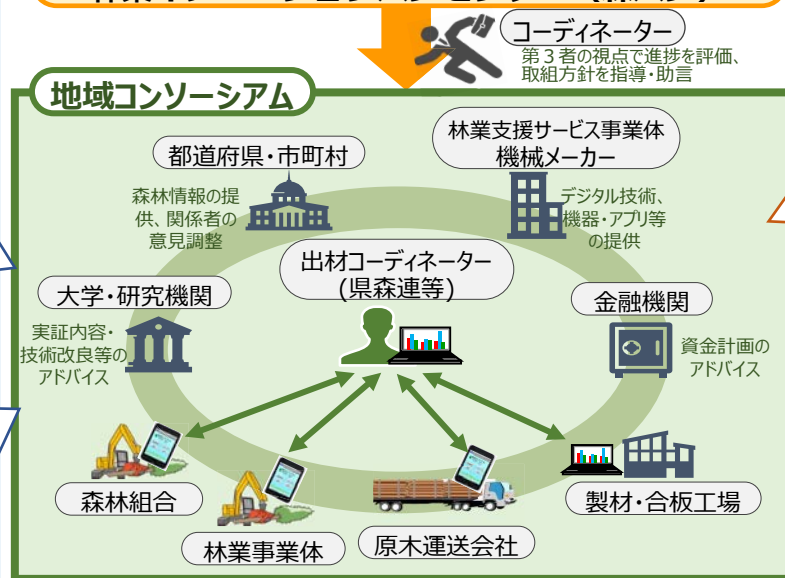


伐採・流通の効率化

- ・ICTを活用した生産管理（複数の現場の生産量等の情報共有・一元化）
- ・製材工場等の木材需要と山側の木材供給のマッチング
- ・原木輸送トラックの配車の効率化 など



林業イノベーションハブセンター（森ハブ）



地域が一体となったデジタル林業の自律的展開
（デジタル林業戦略拠点の構築）

地域の木材生産・流通の収益性を持続的に向上

提案事業

（実証活動、資機材購入費等を支援）

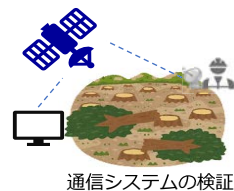
再造林の省力・低コスト化

- ・植栽計画のデジタル化とGNSS活用による植栽作業の効率化
- ・ドローンを活用した苗木運搬
- ・遠隔操作下刈機械の活用 など



デジタル・通信技術の活用

- ・LPWA通信を活用した安全管理
- ・衛星通信システムの利用検証 など



2. 地域の特性や農林水産物等の地域資源を活用する取組に関する施策（スマート農林水産業）

29	デジタル水産業戦略拠点整備推進事業	URL	https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/digital_suisangyo/index.html				
事業実施主体（対象者）	支援対象・内容	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	R7年度当初予算 (百万円)	問合せ先	
民間団体等	ソフト	定額	2月上旬 ～中旬		1,952の内数	農林水産省 水産庁漁政部企画課 03-3592-0731	

<事業の内容>

デジタル水産業戦略拠点の計画策定等支援

これまで資源管理、生産、加工・流通・消費の個々に実施されてきたデジタル化の取組を面的に地域一体で取り組むデジタル水産業戦略拠点を創出するための計画策定に必要な地域コンソーシアムの開催や専門家の派遣等を支援します。

<事業イメージ>

デジタル水産業戦略拠点（イメージ）

地域コンソーシアム

漁村地域の関係者によるデジタル技術を活用した協業



漁業者



加工業者



流通業者



消費者

期待される効果

○漁村地域の活性化

地域内での相乗効果も含め、水産関係者の所得の向上など、地域の活性化

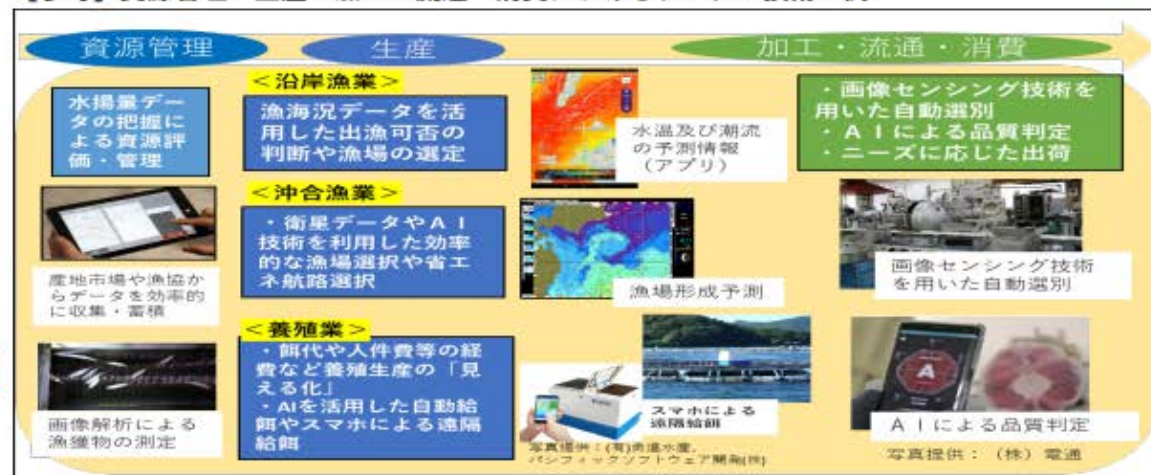
○都市住民や外国人観光客も裨益

消費者の安心趣向への対応、食品ロスの削減、ワーケーション等によるQOL向上

○学ぶ場の提供

地域外のスマート水産業に興味のある漁業者や加工流通業者等に学ぶ場を提供

【参考】資源管理・生産・加工・流通・消費におけるデジタル技術の例



<事業の流れ>



2. 地域の特性や農林水産物等の地域資源を活用する取組に関する施策(スマート農林水産業)

事業実施主体(対象者)	支援対象・内容	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	R6年度補正予算 (百万円)	問合せ先
30	スマート農業技術開発・供給加速化対策	URL	https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2024-3.html			 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 03-3502-7437
民間団体等 (公設試、大学を含む)	ソフト	定額	終了		3,525	

1. スマート農業技術開発・供給加速化対策

3,525百万円

① 重点課題対応型研究開発(民間事業者対応型)

特に必要性が高いスマート農業技術の開発を促進するため、スマート農業技術活用促進法に基づく重点開発目標に沿った民間事業者による研究開発を支援します。

② 現場ニーズ対応型研究

中山間地域を含む多様な現場ニーズに対応するため、スタートアップ、異業種、農機メーカー、大学、公設試等と産地が連携した機動的な研究開発を支援します。

③ 技術改良・新たな栽培方法の確立の促進

開発技術を円滑に産地へ供給するため、メーカーとサービス事業者等によるプロトタイプ[※]の製造段階における改良や技術に適合した新たな栽培方法の確立を支援します。

④ スマート生産方式SOP(標準作業手順書)作成研究

スマート農業技術の導入を推進するため、導入効果を着実に発揮させる栽培体系やサービス事業者を介した技術の運用方法等を検証し、標準化する取組を推進します。

2. アグリ・スタートアップ創出強化対策

400百万円

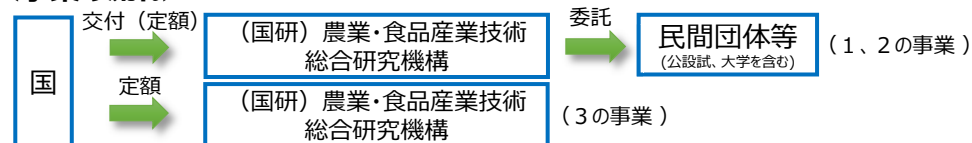
SBIR制度のもと、革新的な研究開発・事業化を目指すスタートアップ等の育成や若手人材の発掘・能力向上を支援します。

3. スマート農業技術開発・供給加速化体制整備

1,434百万円

農研機構の有する知見や設備等を産学官が連携して利用するためのスマート農業技術に関連する施設を整備します。

<事業の流れ>



技術開発・供給
+
取組の加速化

1. スマート農業技術開発・供給加速化対策

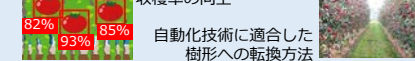
① 重点開発目標に沿った、品目ごとの特性に応じた技術の開発・製品化

【例】



③ 技術の質的向上(汎用化、精度・ユーザビリティの向上)や技術に適合した新たな栽培方法の確立

【例】



② 中山間地域を含む多様な現場ニーズに対応した、既開発技術の活用等による機動的な研究開発

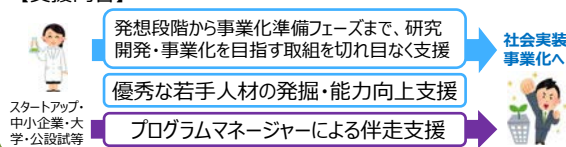
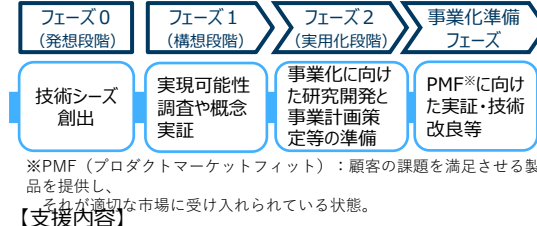


【例】
中山間地域向けの管理作業機の小型化
(非乗用型への転換など)

④ 技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系やサービス事業者を介した技術の運用方法等の検証、標準作業手順書(SOP)の作成

【SOPの例】
自動収穫ロボットの導入効果を最大化するための栽培管理体系の確立、アプリ化

2. アグリ・スタートアップ創出強化対策



3. スマート農業技術開発・供給加速化体制整備

農研機構の施設等供用等に関連する施設整備を実施

